

報告

地域医療を担う青少年育成事業

副会長 小熊 豊

平成16年度より実施された新医師臨床研修制度は、医師としての知識、人格、患者の診療に必要な幅広い技能を身につけることを基本理念にスタートしたが、研修医の都市部大病院への集中、大学講座への入局者の減少を招き、地域への医師派遣システムの破綻、さらには地方病院からの医師の引き揚げなど、地域の医師不足を招く一因となった。

道内でも医師不足や診療科の地域偏在が深刻化し、地域中核病院でさえ医師確保が難しく、道内2次医療圏別の人口10万人当たりの医師数は、札幌圏、旭川を中心とする上川中部圏が全国平均を上回るだけで、その他19圏域は充足数が下回っている状況にある。また、この状況は医師のみならず、薬剤師、看護師等も同様で、地域医療の確保は極めて厳しい状況にある。

北海道医師会や北海道などは、北海道医療対策協議会において市町村立病院における医師派遣（紹介）の調整や、緊急臨時的医師派遣体制整備事業、札幌医大・旭川医大の地域枠拡大、女性医師等勤務環境整備事業、道教委の医学部進学を目指す道立高校生を対象としたメディカルキャンプセミナーなど、医師確保のために短期・中期的な各種対策に取り組んでいる。

こうした中、長瀬会長は長期的な対策として、地元の小中学校生に「医療」へ携わるきっかけを作ってもらうことを目的として、北海道の「地域医療を担う青少年育成事業」に平成24年度より取り組んでいる。道内三大学の医学部入学における道外・道内出身の割合は、札幌医大・旭川医大の地域枠定員数増加に伴い、ここ数年は確実に道内出身者が多くなっているが、地域枠の多くの学生が卒業するのはこれからであり、道内出身者すべてが卒後地元に残るとは限らず、地域への医師の定着・充足にはまだ程遠い状況にある。しかし、中には地方、へき地からの出身者が「地元に戻り地域医療に携わりたい」という思いで医学部に入学する学生もいることから、「子どものころから医師や看護師等になりたい、

【概要】

地域医療を担う青少年育成事業（平成24～26年度）

【実施主体団体】

開催地市町村・教育委員会・北海道・北海道医師会（共催）

【目的】

地域の医師不足に対応するため、市町村・道・道医師会が連携して小・中学生を対象とする医療体験事業を実施し、将来、本道の地域医療を担う人材を育成することを目的。

【実施内容／二部構成（昼・夜）】

（一部/小中学生対象）

（1）講演「夢を育てよう」 北海道医師会長 長瀬 清

（2）医療体験 手術医療体験、医療器具体験、AED 実演、検査機器の医療体験（エコー、内視鏡カメラ挿入、腹腔鏡手術シミュレーター、心臓カテーテルシミュレーター）

（二部/P T A 保護者、一般市民対象）

講演「地域の医療を考える」 長瀬 清

と思ってもらえるような教育が必要であり、真っ白な心の子ども達に、自分の出身地で医療に携わることを考える」ことへのきっかけ作りとして、北海道、北海道教育委員会、開催市町村と連携協力を結びながら、特に人口10万対医師数が低い地方へ出向き事業を展開している。

実施内容は二部構成であり、第1部は小中学生を対象に、長瀬会長自ら「夢を育てよう」と題し講演、続いて医療機器に手を触れてもらうことを主眼として、内視鏡カメラ挿入、腹腔鏡手術シミュレータ、心臓カテーテルシミュレータ、AED実演、エコー検査実演・操作体験、術衣試着と医療器具展示・体験などの医療体験を行っている。

次に第2部では、同日の夜にPTA、地域住民を対象に、「地域の医療を考える」と題し医療講演会を開催し、道内の地域医療の現状や、次世代を担う子ども達の夢を育てることの理解を得るための講演を行っている。

本事業は平成24年度より実施、3年が経過するが、平成26年度事業が終了したので、概要を報告する。



長瀬会長講演 26. 9. 5 羽幌町

本事業は、北海道や開催市町村、関係小・中学校や郡市医師会長はじめ、共催市町村の医療機関病院長、ならびに医療関係従事者、消防署、さらには事業に賛同、無償で医療器材を提供、毎回地域へ赴き機材操作のお手伝いをいただいている協賛各社の方々の多大なご協力のもと実施している。

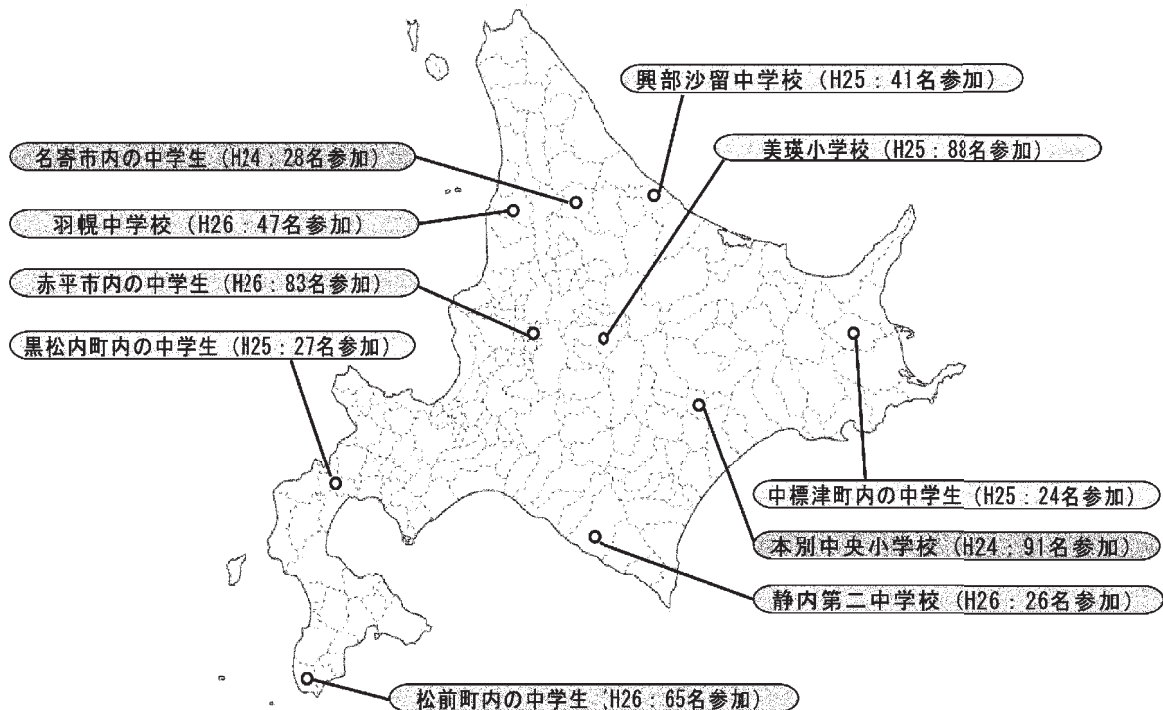
ことに、衆議院議員 勝沼栄明先生には、国会議員としてではなく道内の地域医療を担う医師の立場として本事業に賛同、平成24年度より可能な限り現地へ赴き、一緒に児童生徒へご指導いただいている。関係各位におかれては、日常業務、日常診療の多

忙の中、児童生徒の夢を育てることへの多大なご支援に改めて感謝し、この場を借りて御礼申し上げる。

本事業を取り組み3年が経過したが、開催をしてきた各市町村の中には、地域に根差す医療を町全体で考え継続して取り組むなど、徐々に事業の趣旨が浸透されつつある。

北海道医師会では、平成27年度も本事業を引き続き開催する予定である。地域に根差す医師、医療関係者をみんなでバックアップして育てていくべく、継続していきたい。関係諸氏のさらなるご支援、ご協力を切に願う次第である。

H24～26年度 地域医療を担う青少年育成事業実施状況



24年度	25年度	26年度
〔本別町〕 8月24日(金)/ 本別中央小学校 本別中央小5-6年生 91名 ・本別町国保病院 一条正彦院長	〔黒松内町〕 8月22日(木)/ 黒松内中学校 黒松内中学校ほか 30名 ・黒松内町国保病院 秀毛寛己院長	〔中標津町〕 10月31日(木)/ 町立中標津病院 中標津中学校ほか 25名 ・町立中標津病院 長淵英介院長
〔名寄市〕 10月26日(金)/ 名寄市立総合病院 名寄中・風連中・名寄東中 参加希望者 30名	〔興部町〕 8月30日(金)/ 沙留中学校 沙留中学校1-3年 41名	〔美瑛町〕 11月13日(水)/ 美瑛小学校 美瑛小学校5-6年 88名
		〔羽幌町〕 9月5日(金)/ 羽幌町中央公民館 羽幌中学校1年 47名 ・道立羽幌病院 奥雅志院長
		〔新ひだか町〕 10月15日(水)/ 静内第二中学校 静内第二中学校 26名 ・町立静内病院 小松幹志院長
		〔松前町〕 10月23日(木)/ 町民総合センター 松前中学校ほか 65名 ・町立松前病院 木村眞司院長
		〔赤平市〕 10月29日(水)/交流センター 赤平中学校ほか 83名 ・市立赤平病院 内山久土院長

医療機器協力		商品提供協力		
・株式会社 ・オリンパスメディカル システムズ株式会社	・東芝メディカル システムズ株式会社 ・各地区消防署	・日本メディカル プロダクツ株式会社 ・スリーエムヘルスケア株式会社	・ミズホ株式会社 ・東レ・メディカル株式会社 ・メディコムジャパン株式会社	・ビーブラウン・エースク ラップ株式会社 ・アポットバスキュラー ジャパン株式会社

〔育成事業風景〕



手術衣試着と医療器具展示／勝沼栄明衆議院議員 26. 9. 15 羽幌町



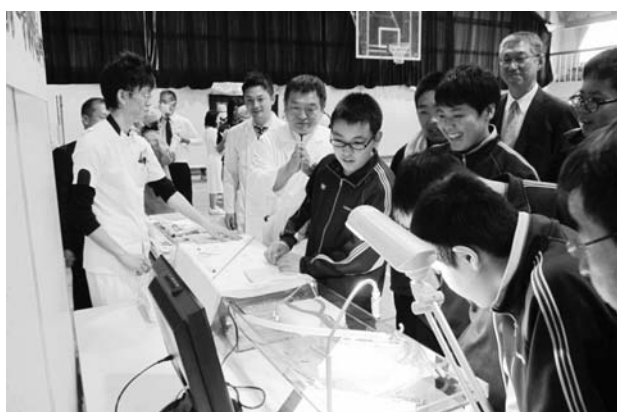
大腸内視鏡検査シミュレータ／小熊副会長 26. 10. 23 松前町



腹腔鏡手術シミュレータ／道立羽幌病院 奥院長 26. 9. 5 羽幌町



超音波エコー／長瀬会長 26. 10. 23 松前町



心臓カテーテルシミュレータ／町立静内病院 小松院長 26. 10. 15 新ひだか町



超音波エコー／市立赤平病院 内山院長 26. 10. 29 赤平市



腹腔鏡手術シミュレータ／町立松前病院 木村院長 26. 10. 23 松前町



集合写真 26. 10. 29 赤平市